



# 新大阪ロータリークラブ

創立 昭和 60 年 5 月 8 日

<http://www.shin-osakarc.jp>

- 事務局 〒532-0011 大阪市淀川区西中島5-5-15 新大阪フシントンホテルプラザ  
TEL:06-6305-1010/FAX:06-6301-2525/E-mail: shin-osaka.rc@m6.dion.ne.jp
- 例会 毎週水曜日12時30分 新大阪フシントンホテルプラザ(TEL:06-6303-8111)
- 会長/横山 洋一郎 幹事/北野 克美 会報委員長/村木 茂 会報副委員長/森田 智博

## 四つのテスト

言行はこれに照らしてから I 真実かどうか II みんなに公平か III 好意と友情を深めるか IV みんなのためになるかどうか

No. 1336

Date 2013.9.4

### \*\*\* 四つのテスト \*\*\*

言行はこれに照らしてから

1. 『真実』かどうか
2. みんなに『公平』か
3. 『好意』と『友情』を深めるか
4. みんなの『ため』になるかどうか

### \*\*\* ロータリーの綱領 \*\*\*

1. 奉仕の機会として知り合いを広めること。
2. 事業および専門職務の道徳的水準を高めること。あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという認識を深めること。そしてロータリアン各自が業務を通じて社会に奉仕するためにその業務を品位あらしめること。
3. ロータリアンすべてがその個人生活、事業生活および社会生活に常に奉仕の理想を適用すること。
4. 奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって国際間の理解と親善の平和を推進すること。

### <本日のプログラム>

第 1336 回例会 / 2013 年 9 月 4 日

#### 本日の挨拶

「フーテミダー Goedemiddag」(オランダ語)

#### 標 語

「Engage Rotary Change Lives」

「ロータリーを実践しみんなに豊かな人生を」

#### 増強のための標語

「力を合わせて50名 - 奉仕の輪を広げよう」

#### 国歌斉唱 「君が代」

#### ロータリーソング 「歓迎の歌」

あなたも私もロータリア  
心も裸でさあ握手  
あなたも私もロータリア  
心も一つでさあ握手  
さあ握手

#### 卓 話

「災害復興プロジェクト」

中川 建司 委員長

### 第 1335 回例会報告 (8 月 28 日)

- 司会進行 SAA 谷口会員
  - ロータリー・ソング SAA 村木会員
  - 来賓紹介 SAA 村木会員
- 伊丹RC 富田 茂 様  
大阪東淀ちややまち 大澤 一雅 様

#### ■ 出席者報告 SAA 谷口 会員

第 1335 回例会 2013 年 8 月 28 日	
会員数 34 名	出席率 91.18%
出席数 28 名	欠席数 3 名
出席免除会員欠席数 3 名	
第 1334 回例会 (8/21)	
メイクアップ 1 名 修正出席率 88.24%	
8/07 山路会員	

力を合わせて50名一奉仕の輪を広げよう

■会長の時間

会長 横山 洋一郎  
2013.8.28

皆さんこんにちは

先週当クラブの植田誠会員のご尊父 植田 正幸様が御逝去されました。ご葬儀当日参列されました会員の皆様にはお疲れ様でした。植田会員には、ここに謹んでお悔やみを申し上げます。



新入会員歓迎会 8月21日(水) 於チャイナテーブル



本日のビジター

伊丹 RC 富田茂様・大阪東淀ちゃやまち RC 大澤一雅様

9月のバースデーロータリアン

happy birthday

	9月 3日	谷口会員
	9月16日	村角会員
	9月19日	鑄方会員
	9月23日	櫻井会員
	9月25日	横田会員

■東日本大震災義援金報告 8月28日 3,000円



ポール・ハリス・フェロー BOX

遠藤会員

本日の合計 1,000円  
今年度累計 29,000円



米山ボックス

湯浅会員

本日の合計 1,000円  
今年度累計 29,000円



ニコニコ箱報告

■SAA

花原 会員

伊丹RC 富田 茂 様

いつもお世話になります。

植田会員 この度は、お世話になりました。まことにありがとうございました。感謝しております。

遠藤会員 前回欠席のお詫び。

武市会員 先日はカンガイ会ありがとうございました。

田中会員 歩こう会、雨で残念でしたが、楽しかったです。

中川会員 追加で久富さん今日スママセン。

松本(圭)会員 歩こう会の友が島行きで久富先生が教えてくれた海辺で小さなダメ貝を採集し、ホテルで煮てもらって食べて美味しかったです。少年の頃にもどりました。

三島会員 少しずつしく成りました。ありがたいです。

山路会員 前回欠席のお詫び。

湯浅会員 引っ越し中です。ゴルフを誘わないで下さい。

吉田会員 明日夜サンTVで野球が終わってからの釣り番組に出演します。視聴率UPにご協力を。

## ■幹事報告

幹事 北野 克美

- ・日本ライトハウスより会報、年報が届きました。回覧します。
- ・9月のロータリーの友が早く届きましたので、本日配布させて頂きました。尚9月号には、日本全国のRC例会会場と曜日、時間が掲載されていますので、保管するようにお願いします。

### 再告知

- ・新大阪ロータリーの黄色いジャンパーをお持ちでない新会員の皆様は、サイズ確認をしたうえで作る手配をしますので、例会後見本の試着をお願い致します。



## 委 員 会 報 告

### ■会報小委員会

村木 茂 委員長

「私の提言」提出期限を8月末としておりましたが、締切りを2週間延ばします。まだ提出されていない方、よろしくをお願いします。

### ■親睦活動小委員会

田中 宏 委員長

10月12日、13日の日程変更、予算概算の報告  
ゴルフ組はスタート時間が取りづらい為、マイカーで行って頂く可能性が出てきた事報告。  
部屋割りは夫婦組は二人で一部屋を考える。

暑い暑い夏小休止ですが、まだまだ終わりそうにありません。体調維持にご留意ください。入会 4 年目にしてクラブ運営委員長を拝命しておりますが、どんなお役目なのか理解ができておりませんが作っていただいた計画書によると、

委員長は、会長、幹事、次期会長を補佐し、各委員会との協力を計って、クラブ運営・活動・その計画・遂行が円滑に行えるように努めよとのことです。次期幹事として、会全体の状況を知り、わがクラブが常に楽しい場であり、奉仕の精神を全うする喜びを共有できる場にする努力をせよとのことです。

具体的には

- ①委員会の予算の把握
  - ②他の委員会と協力してクラブ活動を計画
  - ③委員会の会合や計画と実施
  - ④各委員会の目標の進捗・達成度を把握し、会長をはじめ会員に報告
- が、委員長の責務のようです。これを果たすためには皆さんの協力・援助が不可欠ですのでよろしくをお願いします。

今年の夏はいかがだったでしょうか？

私の夏の思い出を聞いてください。

①郷里の岡山県玉野市の「玉野光南」が甲子園大会に出場しました。応援に出かけましたが、一回戦で敗れ無く敗退しました。楽しい、暑い思い出になりました。高校生に感謝。

②フェイスブックの友達に「点字ブロックの上に物を置かないで」というステ

ッカー貼り隊を頼まれました。阪急電車に頼みましたがだめでした。わが大阪回生病院に貼ろうとしましたが、当院にも問題ありです。点字ブロックの意味がわかっていないのです。改善が必要です。眼の不自由な人が少しでも安心して外出できるためにあることを認識しましょう。お願いします。

③宮崎の兄のような先輩が「岡山孤児院物語」という本を送ってくれました。およそ 100 年ほど前のことです。社会福祉などという言葉もなかった時代今の岡山市に最大 1200 人の孤児を収容していた民間施設がありました。その名を「岡山孤児院」いいました。創立者で、運営のリーダーが田中十次でした。宮崎の出身で地元高鍋町では顕彰されているらしく先輩も知ったようです。この民間施設が明治の終わりに大阪に愛染橋病院を作り、現存し、ことしの 8 月から先生の親友が病院長として赴任しました。このことが端緒となった石井十次であり、我々の関係に何らかの因縁を感じた行動のようです。金はないが「自分は神の子である」と強い信念で、大原孫三郎・児島虎二郎などたくさんの人に支えられての事業でした。人は一人で生きられない。周りに支えられて生きている。自分も人を支えていきたい。そんなことを感じる夏でした。新大阪ロータリークラブがそんな組織となるようにみんなで頑張りましょう。

御静聴ありがとうございました。

## 卓 話

### 第3回クラブフォーラム

「クラブ運営委員会」

久富 義郎 委員長



歩こう会報告  
 第4弾企画  
 大阪の諸道を行く  
 其の一 熊野街道編の七  
 和歌山→加太→友が島散策編  
 久富 義郎



第一日

9:20 和歌山市駅に集合。村木・北野・田中・松本圭祐・中川・久富の6名。到着時も雨で、加太駅まで歩く気はなく、電車に乗ること20分弱で加太駅に到着。町を散策しながら宿の「あたらし屋」に到着。11:00 前なので、荷物だけ預けて「淡嶋神社」参拝。この神社は全国にある淡島(嶋)神社・粟島神社・淡路神社の総本社である。2月8日の針祭、3月3日のひな流しなどで有名だが、特筆すべきは境内一円に奉納された2万體ともいわれる無数の人形であり、その様はひとえに壮観でした。



門前の食堂で、新鮮な魚介類をしこたま食べて飲んで、でも13:30膨れた腹ごなしに海岸を散歩。田倉崎灯台に上り、明日の目的地友が島・その向こうに淡路島を遠望。この灯

台は海拔約50メートル。けっこうきつい山登りでした。後は宿の温泉につかって、ゆっくりするがまだまだ時間はいっぱい。魚釣り客のいる波止場を傘をさして散策。夕食は新鮮な魚のお刺身中心に大満足。夜はテレビ、久しぶりの麻雀に興じ23:00には就寝。



第二日

6:00 過ぎに目覚めると、結構な量の雨。ヨットで迎えに来てくれる予定の湯浅さんに連絡。天候最悪のため、今回のクルージングは中止することにした。7:30の朝食を終えてからは、雨だが友が島に渡って、1時間ほどでも散策して帰るつもりが、渡し船は昨日島に泊まった客を迎えに行くだけで、乗船はさせないという。残念ながら、渡ることもかなわず、大阪まで帰ることに。10:30には難波着。昼飯を食べて解散の計画とし、餃子を食べることに決める。店を物色中に、あまり経験したことのないような、豪雨。運よくみなみのアーケードに守られたが、ホントにすごい雨でした。昼飯の時間にまだ準備中の店ばかり。梅田まで移動して「珉珉」にて、餃子・焼きそば・ジンギスカン・きゅうりずけ・ビールなどたらふく飲んで食べて、13:30には解散。今回の歩く会は何だったのでしょうか。近いうちにもう一度挑戦です。友が島散策の旅を企画します。(文責:久富義郎)



※未掲載の歩こう会「第五回」、「第六回」は後日掲載します。

## 人権を守る医療

国立療養所 邑久光明園 園長

## 畑野 研太郎

医療は人権を守る行為です。命を守ること、健康をとりもどすこと、可能な限りよいQOLを保つこと、こういった医療の役割は、人が人間らしく生きていくための基であるからです。

しかし残念なことに、結果として医療が人権を抑圧した歴史もまた多く存在します。いま働いている国立療養所邑久光明園は、ハンセン病の回復者のための全国13ある国立療養所の一つです。20年ほど前には約450名おられた当園入所者も現在では約150名となり、平均年齢も60代後半だったものが83歳を超えています。

彼らは、ハンセン病という偏見差別の強い疾患を患ったために、診断された瞬間から「カフカの『変身』の主人公」のように、まるで毒虫になったかのように社会から排除の対象とされたのです。菌を排出しない少菌型の患者でも、「らい予防法」により強制隔離の対象とされるようになったのは1931年のことです。多くの入所者は強制隔離されるにあたり、故郷に残された家族を差別から守るために、「戸籍を抜いて入園せざるを得ず、本名を隠し園内名を名をすることを強く勧められました。プライバシーのない集団生活で、園内結婚は許可されたものの、女性舎の一室で3組ほどの夫婦が間違ったてを立てて夫婦として生活していましたが、小児期に親から離されて入園した人々も、正式の学校教育は昭和16年になって初めて認められました。

しかしもっと大きな問題は、入所者は、

闘病のために療養所に入院させられたにもかかわらず、実際の施設を運営するための業務を、ほぼ自分たちの労働によって行っていたのです。末梢神経障害や視力障害というハンセン病後遺症の障害度は、これらの労働でさらに高度なものとなりました。

この園内作業は時代によって異なりませんが、医療・看護業務、亡くなった仲間や火葬場作業まで行わされてきました。作業賃は非常に低額（一週間にたばこ二箱程度）でした。まるでナチスの作ったゲットーのようなもので、医療機関の名を冠して行われてきたのです。その後徐々に園内の状況は改善されて行きましたが、「らい予防法」が廃止されるには1996年までかかりました。ハンセン病を患われた方とは、病気という理由で終身刑を受け、人権被害や子供をつくる権利を失い、病気が治った後も社会に帰ることが許されなかった方々です。

また、この病に対する偏見と差別は家族全体が対象となり過酷でした。多くの入所者は家族からも「帰ってこないでくれ。連絡をしないでくれ。」と言われ、亡くなっても骨は故郷のお墓には帰れませんでした。今も園内には納骨堂があり、多くの方はここに眠っています。

なぜこのようなことが起こってしまったのでしょうか。ハンセン病療養所も医療機関であり、少なかつたとはいえ医療職も仕事をしていました。これらの職員がハンセン病を病んだ人々に強い同情心を持っていたことを疑うことはできません。

ん。これらの病をおった人々に社会全体が背を向けていた時代に、中には同情心を持った人がいたことでしょう。

職員たちは、自分の人生をハンセン病をおった人々に寄り添うことに賭けるほど同情心を持っていたのですが、病者の人権を守ることは、結果としてできませんでした。彼らの人権意識は、その時代と社会のスタンダードを超えることができなかったからだと思います。同時に、社会の意識が法律で強化され、それ故に偏見差別が強化されることに反対する主体が形成されなかったのではないのでしょうか。

今の時代から見返すと、同情心が病者を守るという使命感の裏返しとして強いパターナリズム（それは時代もそうでしたが）の形で発揮されて、本当に病者の思いを受け取って社会を変革する意識には育たなかったためではないかと思えます。自らの思い込みによって、当事者の思いを第一にすることがおざりにされたのではないかと思うのです。

いま私たちは、超高齢化した入所者を前にして、入所者の方々の人権を大切にすることを、具体的にどのようにならなければならないのかと自問する毎日です。何よりも大切なことは、当事者の思いをどこまでも聞く姿勢ではないか、同時に、社会の人権意識を超えた人権意識をつねに求め続けねばならないと考えています。そして、共に生きる者としてこれらの回復者たちによりそって生き続けたいと思いを新たにしている毎日です。

## 本日のメニュー

～100万ドルミール～

ノルウェー産サーモンマリネ、白菜 コリアンダーの香り

ワシントンホテルプラザ伝統の味 “ビーフカレー”

甘酢キャベツ サラダ

珈琲



## 予定表

月	日	曜日	予定	時間他
9	4	水	第1336回 例会 災害復興プロジェクト 中川 建司 委員長	13:30～定例理事会
	11	水	第1337回 例会 公開卓話「宮中行事・儀式を垣間見て」中尾 巧氏	例会終了14時
	12	木	地区国際奉仕委員会 16:00～ 於ガバナー事務所	安井地区国際奉仕副委員長出席
	15	日	第39回東淀川区民まつり「盲導犬育成バザー」13:00～16:10	お手伝い 10:30 集合(東淀川区役所前広場)
	18	水	第1338回 例会 第4回クラブフォーラム「職業奉仕委員会」	13:30～絵画クラブレッスン
	25	水	第1339回 例会 周年事業特別委員会 吉田 正則 委員長	
	29	日	第33回健康家族の会 槇尾山ハイキング	8:00十三松尾歯科集合
10	2	水	第1340回 例会 「交通安全教室」淀川警察署長 福田 守様	13:30～定例理事会

## 次週のプログラム



第1337回例会／2013年9月11日

### ◆挨拶

「フーテミダー Goedemiddag」(オランダ語)

### ◆ロータリーソング 「歓迎の歌」

### ◆卓話

#### 公開卓話

「宮中行事・儀式を垣間見て」  
中尾 巧 先生

(例会終了14時)

### \*\*\* エンブレムの囁き \*\*\*

1. あなたは私を信用して頂いて結構です。私は信用に値します。
2. 私の用意はできています。何時でも貴方のために奉仕できます。
3. 私は、受ける以上のものを貴方に与えます。私は人のために奉仕します。